



小中学生による建設工事風景図画作品

五霞町立五霞西小学校／杉田 彩乃さんの作品

△  
主  
な  
内  
容  
▽

- ▼ 新春賀詞交歓会を開催
- ▼ 県と消防防災協定を締結
- ▼ 建築委員会が経済調査会と意見交換
- ▼ 岡部名誉会長が逝去

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

# 働き方改革進め、地域の守り手に

## 令和2年 新春賀詞交歓会を開催

本会は1月10日、茨城県建設技術管理センター、茨城県建設業協同組合との共催による令和2年新春賀詞交歓会を水戸市の水戸京成ホテルで開催しました。石津健光会長は「人材の確保・育成に不可欠な働き方改革に取り組み、『地域の守り手』としての取り組みを強化し、社会資本の整備や県民の安全・安心を確保を支援してまいります」とあいさつ。参加者は本年を飛躍の年とすることを決意しました。

賀詞交歓会は、大井川和彦県知事や本県選出国會議員、県議會議員、県幹部職員、県内建設関連各団体の代表を来賓に迎え、盛大に催しました。



石津会長

主催者あいさつで石津健光会長は、昨年の台風15号や19号による災害対応として、15号では千葉県への物資支援や屋根補修作業員の派遣、19号では会員企業による災害ごみ撤去などのボランティア活動を行ったことを紹介。「地域建設業の社会的使命を果たすことができた」と関係者の尽力に感謝を表しました。

そして自然災害が頻発化、甚大化している中、地域建設業による災害対応などの『地域の守り手』としての取り組みを強化していく必要があると考えている」と強調。

一方で、地域建設業は働き方改革と担い手確保が喫緊の課題であり、今後は建設未来協議会と昨年発足した女性部会「建女ひばり会」を中心に「将来の担い手である子どもや女性に選んでもらえる業界づくりへ活動を強化してまいります」と抱負を述べました。

そして「次代を担う人材の確保・育成に不可欠な働き方改革などに取り組み、社会資本の整備や



多くの来賓が出席し盛大に開催された賀詞交歓会



高橋水戸市長の発声で乾杯し、新年の飛躍を期した

県民の安全・安心の確保について、しっかりと支援してまいります。ご支援とご協力をお願い申し上げます」と呼び掛けました。

来賓からは大井川和彦知事などが祝辞を披露。本会の前進と発展に期待が寄せられました。

その後、高橋靖水戸市長の発声で出席者全員が乾杯。本年の飛躍を誓い合いました。

## 来賓祝辞 本会の躍進に期待の声

### 大井川 和彦 茨城県知事



協会の皆様には昨年の台風被害からの応急復旧で建設業が不眠不休で活躍していただき、感謝申し上げます。県としても災害に備えた予算を考え、河川改修の徹底などを検討している。限られた予算の中で最大限の効果を発揮できるように県政に取り組んでまいりたい。

### 海野 透 茨城県議会議員 (自由民主党県支部連合会会長代行)



今年の東京オリンピックの開催は日本の再生につながることを期待しています。そのためには国民が安全・安心に暮らせる国土強靱化が喫緊の課題です。建設業が人材確保・育成に取り組み、県土の強靱化にご尽力いただきたい。

### 森田 悦男 茨城県議会議長



昨年の台風被害では建設業がいち早く現場に駆け付け、調査、応急復旧にご尽力いただいたことに感謝を申し上げます。今後も、地域間競争に打ち勝つためにも、県民が安心して快適に暮らせるよう、地域に厚い信頼があり、高い技術がある建設業のご活躍を祈念申し上げます。

### 額賀 福志郎 衆議院議員



昨年の新・担い手の3法の成立によって、災害対策をはじめ発注者の責務、民間発注工事の工期など建設業がしっかりと活躍することができる環境となった。今後も、さらなるご活躍を祈念申し上げます。

### 葉梨 康弘 衆議院議員



国会でも災害対策の重要性が議論されています。災害対策は緒に就いたばかりです。今後も建設業と共に、地に足を付けて活動を続けてまいりたい。地域の安全・安心を守る建設業界のますますのご発展を祈念する。

### 田所 嘉徳 衆議院議員



国においても災害復旧への動きが進んでいます。これから再度災害の防止や改良復旧に取り組むことをしっかり訴えていきたい。そのためには地元建設業と連携が重要になる。さらなるご活躍を祈念申し上げます。

### 岡田 広 参議院議員



昨年の建設業の災害対応には、本当に頭が下がる思いである。今後も災害復旧対策にしっかり取り組んでいく。そのためには補正予算、新年度予算を通して、地域景気対策にもしっかり取り組んでまいりたい。

### 佐藤 信秋 参議院議員



建設業の働き方改革には単価の引き上げ、経費の引上げが重要になる。人材の確保・育成にも取り組み、古里を守る災害対応もしっかり行っていただき、建設業が新しい3Kのトップランナーになっていただきたい。

### 上月 良祐 参議院議員



人材の確保・育成や働き方改革など、建設業のさまざまな課題を解決するには、適正な単価、工期など発注側の対応が重要になる。今後も現場の声をよく聴きながら、建設産業界のために働いてまいりたい。

# 県民の安全・安心を守る 12支部長が今年の抱負



**尾曾 正人 水戸支部長**

建設業は災害発生時に、いち早く対応し、地域住民の安全・安心な暮らしを守る社会的使命を担っている。若者が誇りと希望を持ち、将来を託せる魅力ある業界となるよう努めていく。



**松崎 里志 潮来支部長**

働き方改革や生産性の向上、若者の入職など様々な課題がある中、建設業界を発展させるために問題を解決していきたい。一致団結していくことで、より大きな力が発揮できる。



**瀬谷 實 太田支部長**

日ごろの支部運営への協力に感謝を申し上げる。建設業は後継者不足、技術者不足などの課題が多いが、支部の皆さんの協力をいただきながら打開していきたい。



**細谷 武史 竜ヶ崎支部長**

台風19号による災害復興として昨年、災害ごみの清掃活動にご協力をいただき、感謝する。週休2日制を導入するなど、女性にも働きやすい環境づくりを行っていきたい。



**高野 潔 常陸大宮支部長**

週休2日制の確立や女性技術者の定着など一概には進んでいかない状況である。試行錯誤しながら取り組んでいると思うが、今後も会員相互に意見交換しながら進んでいきたい。



**佐々木 勇 土浦支部長**

『災害に強い県土づくり』に優良な社会資本を提供し、地域の安心・安全な生活の確保に貢献してまいる。地域発展に努め、社会貢献活動にも積極的に取り組まれることを期待する。



**大藤 博文 大子支部長**

昨年の災害対応に感謝している。これから復興第一でお願いしたい。地域住民の安全、安心な生活の確保のために、これからも力を合わせて頑張っていきたい。



**柴 勝 筑西支部長**

国や県において「国土強靱化」が打ち出され、建設業にとっても明るい兆しといえる。本年も災害時のボランティア活動など、幅広い分野で地域社会に貢献してまいりたい。



**秋山 光伯 高萩支部長**

昨年の台風で河川被害があり、皆さまのおかげで復旧が早まった。地元住民の生命・財産を守る仕事をしている。新しい年も協力し、切磋琢磨し、充実させてまいりたい。



**中川原 勇 常総支部長**

昨年のボランティア活動などへの協力に感謝申し上げます。これからもすぐ対応できるよう準備してほしい。今後も地域貢献をはじめ安全第一で作業し、ゼロ災害を目指していきたい。



**羽生 義隆 鉾田支部長**

共存、共栄の精神の元、適正な利益が上げられるよう知恵を絞っていきたい。魅力ある建設業へ努力し、地域社会の貢献活動を実施し、建設業の必要性や重要性を訴えていきたい。



**新井 孝 境支部長**

昨年の台風被害対応では他支部の応援を行った。建設業者は地域の住民に安心安全を届けるのが使命。週休2日制や一斉休工日など、働き方改革にも取り組んでいく。

## 災害時消防活動で重機支援

県と基本協定を締結しました



大井川知事（中央左）と石津会長（中央右）など茨建協副会長が調印後に記念撮影

本会は県と「災害時における消防活動の協力に関する基本協定」を2月6日に締結しました。火災などの災害発生時に、市町村や事務組合が実施する消防活動で重機が必要な場合、本会の協力を得て円滑に重機を調達・使用できるようにするためのものです。

あいさつで大井川和彦知事は「協定のきっかけは、昨年5月の常総市における廃材置き場の火災。通常の消火方法では歯が立たなかったが、重機を使って堆積物をかき出しながら消火するとスピーディーに鎮火できた。それを踏まえ、今後の消火活動において皆さまとの体制づくりが不可欠と判断し、協定に至りました」と経緯を説明。

本会の石津健光会長は「本協会はふるさと茨城を守る地域建設業者として、これまでも地震時のパト

ロールや災害時の応急復旧など、県民の安心、安全を守ってきた」とし、「今後は災害時における応急活動はもとより、効果的な消防活動を行うための必要な業務について積極的な対応に努めてまいります」と述べました。

これから県が仲介し、市町村や広域消防事務組合の消防本部と、本会の各支部が細目協定を結んでいくことになります。

細目協定の協力要請内容は次のとおりです。

- ◆消火活動に支障となる焼き堆積物等の除去
- ◆消火活動を円滑にする外壁開口部の設定
- ◆救助活動に支障となる障害物等の除去
- ◆その他協会支部の協力を必要とする事項
- ◆危険要因となる物質等の除去

## 少量補正検討を要望

建築委員会 経済調査会と意見交換

建築委員会（小薬拓巳委員長）は1月23日、経済調査会との意見交換会を水戸市の県建設センターで開催。建築委員会では人手不足などで労務費などが上昇しているため少額補正の検討を要望しました。

意見交換で建築委員会は、生コンや碎石、区画線・舗装切断などで具体例を示し小規模の単価を検討してほしいと要望。また図面と実際の現場で違いがあり、細かく単価補正をお願いできればと望みました。さらに協力会社が適切な単価で請け負って生計が成り立つ積算が大切と訴えました。

経済調査会では、労務需給アンケート結果や建築着



工統計から分析した茨城県の状況などを紹介。さらに新・担い手3法、市場単価の補正、工事量が少額の場合の単価補正、公共建築改修工事標準仕様書の施工数量調査について解説しました。

## 建設業労働災害防止協会茨城県支部 令和2年度開催予定表(上半期)

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
4	3	金	フルハーネス型安全帯特別教育	古河市商工会三和事務所	○	
	7	8	火 水	玉掛け	サンロード鹿島	(学科)
	9	10	木 金		サンロード鹿島駐車場	(実技) 9、10日のいずれか
	14	15	火 水	小型移動式クレーンの運転	鹿島ハイツスポーツプラザ	(学科)
	16	17	木 金		鹿島ハイツスポーツプラザ駐車場	(実技) 16、17日のいずれか
	20		月	刈払機取扱作業	石下建設会館	
	21	22	火 水	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	23	24	木 金			(実技) 23、24日のいずれか
	27	28	月 火	小型車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター	(28日実技)
	29		水	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	30	5/1	木 金	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
5	7	8	木 金	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	12	13	火 水	玉掛け	茨城県建設業協会筑西支部会館	(学科)
	14	15	木 金		茨城県建設業協会筑西支部会館駐車場館駐車場	(実技) 14、15日のいずれか
	18		月	フルハーネス型安全帯特別教育	つくば市商工会桜会館	○
	19	20	火 水	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター	(学科)
	21	22	木 金			(実技) 21、22日のいずれか
	26	27	火 水	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	28	29	木 金			(実技) 28、29日のいずれか
6	2	3	火 水	小型移動式クレーンの運転	古河市商工会三和事務所	○ (学科)
	4	5	木 金		古河市商工会三和事務所駐車場	○ (実技) 4、5日のいずれか
	8	9	月 火	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館	
	10	11	水 木	地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター(初日は2階)	
	12		金			
	15	16	月 火	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ	
	22	23	月 火	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	23	24	火 水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	25	26	木 金			(実技) 25、26日のいずれか

月	日	曜日	講習名	会場	備考		
7	7	8	火	水	玉掛け	つくば市商工会谷田部会館	○(学科)
	9	10	木	金		つくば市商工会谷田部会館駐車場	○(実技) 9、10日のいずれか
	13		月		フルハーネス型安全帯特別教育	石下建設会館	
	14	15	火	水	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	16	17	木	金			(実技) 16、17日のいずれか
	20	21	月	火	足場作業主任者	建荷協研修センター	(23日実技)
	22	23	水	木	ローラー系機械(締固め用)の運転	建荷協研修センター	
	27	28	月	火	型枠作業主任者	建荷協研修センター	
	29	30	水	木	地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者	石下建設会館	
31		金					
8	3	4	月	火	木造作業主任者	建荷協研修センター	
	5	6	水	木	建築鉄骨作業主任者	建荷協研修センター	
	7		金		フルハーネス型安全帯特別教育	牛久市商工会館	○
	11	12	火	水	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	17	18	月	火	職長・安全衛生責任者	つくば市商工会桜会館	○
	19		水		自由研削用といしの取替え等の業務	建荷協研修センター	
	20	21	木	金	石綿作業主任者	建荷協研修センター	
	24	25	月	火	足場作業主任者	石下建設会館	
	26	27	水	木	地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者	古河市商工会三和事務所	○
	28		金				
	31	月			酸素欠乏・硫化水素危険作業	建荷協研修センター1階	
	31	月			現場管理者統括管理	建荷協研修センター2階	
9	1	2	火	水	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	3	4	木	金			(実技) 3、4日のいずれか
	7		月		丸のご等取扱作業従事者	建荷協研修センター	
	8	9	火	水	玉掛け	ひたちなか商工会議所会館	○(学科)
	10	11	木	金		建荷協研修センター	○(実技) 10、11日のいずれか
	14		月		刈払機取扱作業従事者	建荷協研修センター	
	15	16	火	水	高所作業車の運転	古河市商工会三和事務所	○(学科)
	17	18	木	金		古河市商工会三和事務所駐車場	○(実技) 17、18日のいずれか
	22		火		フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	23	24	水	木	地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター	
	25		金				
	28	29	月	火	足場作業主任者	建荷協研修センター	
30		水		のり面ロープ高所作業	建荷協研修センター		

注：技能講習の実技講習日は、申込先着順に指定する。

\*備考欄に「○」がある講習は、特定の団体から要請があり開催する講習会になりますので、一般での受講を希望する方は予め受講残余の枠を確認して下さい。

## 鉦田支部 活動報告

### 施工上の課題 を協議 県鉦田工事と意見交換



鉦田支部（羽生義隆支部長）は、茨城県鉦田工事事務所（荒川真人所長）との意見交換会を1月17日に開催。支部ではICT工事について、土木工事における発注前での運土計画の調整、工事全般における一連の流れや提出物の明示、一覧表などを求めました。工事事務所では発注や工事の流れなどについてを説明しました。

## 岡部英男氏が逝去

本会名誉会長（前会長）業界発展に多大な貢献

本会の岡部英男名誉会長（前会長）が2月4日、逝去されました。満91歳。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



岡部氏は昭和3年8月生まれ。51年に法政工業専門学校建築科（現法政大学）を卒業後、20代で岡部工務店を興し、昭和38年5月から代表取締役、平成16年4月から代表取締役会長。

本会では平成14年5月に会長就任。長きにわたり県内建設業の振興と発展に貢献されました。平成30年5月からは名誉会長。

その他の建設関係団体でも茨城県建設業協同組合理事長、茨城県建設産業団体連合会会長、茨城県林業土木協会会長、茨城県林業土木事業協同組合理事長などを務められました。

平成3年には藍綬褒章（地方自治功績）、平成27年春には地方自治への多大な功績により旭日中綬章を受章されました。

## 境支部 活動報告

### 県の総合評価改定 を研修 事後審査方式など



境支部（新井孝支部長）は1月23日、茨城県土木部の総合評価方式の改定などに関する説明会を開催しました。約40人が参加し、特別簡易型（Ⅰ）と（Ⅱ）における事後審査方式の導入など、総合評価の変更点を研修しました。新井支部長は「総合評価方式も浸透してきた。勉強会でしっかりと覚えていただきたい」と望みました。

## 会員の動向

### 〈代表者変更〉

- ▽鉦田支部
  - (有)菅谷工務店  
菅谷 健一 → 菅井 真紀
  - 酒井建設(株)  
酒井 宗衡 → 酒井 智弘
  - (株)新堀産業  
新堀 進 → 新堀 進也
  - 藤枝建設(株)  
藤枝 牧子 → 藤枝 洋二

## ちよつと一言



昨年のラグビーワールドカップで日本は「ONE TEAM（ワンチーム）」を合言葉に躍進し、流行語大賞にもなりました。本年は建設業も「一体感」を持って災害復旧、国土の強靱化、社会インフラの整備に取り組みたいところです。(M)